



一般質問に立つ **藤井とし子議員**
(9月17日)

大型開発より コロナ対策や子どもに

広島県と市が44億円ずつ負担し、63億円の寄付(エディオン30億円・マツダ20億円など)をあてにしています。しかし、県の負担金も、民間事業者からの寄付も、市が期待しているだけで確約されていません。財源もないのに「見切り発車」すべきではありません。

昨年の消費税増税に加えて、コロナ禍により生活困難が広がっています。苦しい市民生活と地域経済を直接支援することこそ自治体の役割です。

社会的PCR検査の拡充を

一般質問では、コロナ対策を取り上げました。人との接触が避けられない施設での感染

に対する不安の解消が急がれます。医療機関や介護事業所、保育所や放課後児童クラブなどの職員が定期的なPCR検査を受けられるようにすること、また減収となっている医療機関への補填を求めました。

学校給食自校調理なくすな

子どもの問題では、学校給食の効率化とコスト削減を目的に、小学校の自校調理給食をやめて、民間による大規模センター化がねらわれています。自校調理給食の継続とともに、学校給食に安全な有機農産物の活用を進めるよう求めました。

決議案採決 (9月25日)

平和

敵基地攻撃能力保有は憲法違反 ヒロシマの市長として抗議を!

核兵器禁止条約発効まであと4か国に迫るなか、菅新政権は核兵器禁止条約に一言も触れず、敵基地攻撃能力の保有方針を示しています。これは先制攻撃を可能にする議論であり核兵器の使用にもつながりかねません。国際法にも憲法にも違反するものです。

被爆地ヒロシマの市長として、日本政府に対して、厳しく抗議するよう求めたのに対し、「国会で議論してもらうこと」とまともに答えませんでした。

黒い雨訴訟

原告全面勝訴の画期的判決 市は控訴を取り下げよ

援護の対象を狭い範囲に限定してきた国の不当な線引きを退け、原告全員への被爆者手帳の交付を命じる判決が下されました。被爆者の被害実態にもとづき外部被爆に加えて、内部被ばくの影響の可能性も指摘する画期的な判決でした。

ところが、国は「十分な科学的知見はない」と控訴を市に迫り、市と県はこれに応じ原告らを落胆させました。80歳を超える高齢の原告にあまりに冷たい仕打ちです。今からでも控訴を取り下げるべきだと市長に迫りました。

河井問題

辞職勧告決議案否決!

河井マネー受け取り認めながら居直り

河井克行・案里夫妻による大規模選挙買収事件で、河井被告から違法な金を受け取ったことを認めた7人の議員に対して、党市議団は辞職勧告決議案を提案しました。ところが、自民党だけでなく公明党、市民連合の議員も含めて44人が反対し否決、広島市議会に自浄能力がないことが明らかになってしまいました。

しかも、違法な金の受け取りを認めた藤田議員が反対討論に立ち、「検察が起訴してもいないのに議会が辞職勧告をしようとするのは法を無視したものだ」と、辞職勧告決議の提案を非難しました。

有権者の負託を受けた議員が政治的・道義的責任を果たすことは司法の判断とは別次元のことです。

また、公明党などが提出した、現金を受け取ったとされる議員に対し説明を求める決議案は賛成47、反対4(木山・八軒・木島・藤田)、欠席1(児玉)で可決しました。

辞職勧告決議案への賛否

河井マネーを受け取ったことを認めた議員

区	議員名	賛否	議員名	賛否	
中区	永田 雅紀	×	海徳 裕志	×	
	木山 徳和	×	石橋 竜史	×	
	並川 雄一	×	川本 和弘	×	
	近松 里子	○	碓氷 芳雄	×	
	馬庭 恭子	○	谷口 修	病欠	
	平岡 優一	×	藤井 敏子	○	
東区	碓井 法明	○	八條 範彦	×	
	森島 秀治	×	椋木 太一	×	
	山路 英男	×	竹田 康律	×	
	佐々木 壽吉	×	水野 考	×	
	川村 真治	×	今田 良治	×	
	吉瀬 康平	○	西田 浩	×	
南区	中本 弘	×	山内 正晃	×	
	八軒 幹夫	×	木戸 経康	×	
	渡辺 好造	×	若林 新三	×	
	元田 賢治	×	伊藤 昭善	×	
	中原 洋美	○	木島 丘	×	
	岡村 和明	×	沖宗 正明	×	
西区	平野 太祐	×	金子 和彦	×	
	豊島 岩白	×	川口 茂博	×	
	田中 勝	×	三宅 正明	×	
	定野 和広	×	藤田 博之	×	
	大野 耕平	×	石田 祥子	×	
	中森 辰一	○	児玉 光禎	※3	
		太田 憲二	×	宮崎 誠克	×
		山本 昌宏	×	桑田 恭子	○
				母谷 龍典	×

※1 山田春男議長(西区)は議決に加わりません。また、本人は除斥の規定により退席します。
 ※2 谷口議員は病欠のため今回は対象とせず。
 ※3 沖宗議員あてのみ欠席
 ◆ 説明を求められた議員



第110号
日本共産党
広島市会議員団
2020年10月11日

市民の声や要望を取り上げ質問しました

各常任委員会から



消防上下水道委員会

豪雨災害から命守る ダム の 事前放流の周知を

西日本豪雨で、ダムの緊急放流のため倉敷市真備町で浸水被害が発生しました。その教訓から、ダムの治水能力を高める事前放流を行う協定が広島県内の全てのダムで結ばれました。

温井ダムで事前放流すると、下流の水位が30分で30cm上昇します。全国では、ダムの放流を知らせるサイレンが聞こえず逃げ遅れて、犠牲者も出ています。

中森辰一(西区)
TEL293-3563

太田川流域にはゴルフ場もあり、下流の住民に確実に警報が伝わるよう、スムーズな情報伝達の仕組みを求めました。



経済観光環境委員会

世界では時代遅れの 巨大風力発電はやめよ

電源開発(株)が佐伯区湯来町、廿日市市吉和、安芸太田町の山間部に国内最大級の風力発電(高さ約150mの風車36基)を建設する計画が明らかになり、地域では景観や自然環境への影響から反対の声が上がっています。

さらに、騒音や超低周波振動による健康被害があっても、因果関係が証明しにくく、結局住民が犠牲になることが懸念されています。市として住民の声をしっかり把握し、県知事に意見を上げるよう求めました。



建設委員会

高齢者・障がい者に やさしいまちづくりを

階段室型市営住宅へのエレベーターの設置は重要な高齢化対策の一つですが、松井市政になって中止されました。

静岡市では建物の外側に壁のない廊下だけの建屋をつくることで廊下型に変え、エレベーターを1基設置すること

でバリアフリー化と効率化を実現していることを紹介し、検討するよう求めました。

また、電車の線路があるために横断歩道の距離が長い西区福島町の歩行者信号の時間の延長を県警と協議するよう求めました。



静岡市営安倍口団地
Google ストリートビューより



総務・文教委員会

総務

原爆ドーム・バッファゾーン にぎわい重視に異議あり

バッファゾーンは、原爆ドームの持つ鎮魂と平和への祈念の意味との深いつながりを持ったエリアです。

そのバッファゾーンにあるおりづるタワー1階のカフェで女性が踊るビアガーデンが催されています。原爆ドームの目の前であり、ふさわしくないという声が平和・女性団体からあがりました。

民間ビルの催しですが、負の世界遺産原爆ドームの持つ意味を損なうので、市として対応すべきと求めたところ、市民の声を主催者に伝えたと答えました。バッファゾーン内にふさわしくないものを認めてはならないと指摘しました。

文教 過大過密解消へ小学校を増やせ

「過大規模校」とされる31クラス以上を抱える市内14校のうち、安佐南区などの小学校6校(安佐南区:祇園、山本、春日野、伴、川内 西区:井口)で、教室が不足しています。そのため市は、来春の1年生から、10km離れた空き教室のある隣接校にも入学先を変更できるように見直しましたが、登下校時の安全は自己責任とされています。

市が急ぐべきは、新規に学校を建てる予算を最優先で確保することです。



厚生委員会

保育士にも慰労金の支給を

コロナ禍の自粛期間中も、保育士は医療従事者や介護施設職員などと同様に、感染と隣り合わせで業務にあたっていますが、国の慰労金の対象から外されています。

全国では、山口県や倉敷市など独自で慰労金を支給する自治体が増えており、政令市でも札幌市・仙台市・福岡市が行っています。

きせ康平(東区)
TEL261-1651

保育士に対して独自に慰労金を支給するよう求めました。

暮らしのご相談は
各議員事務所へ

